

クラブ設立3周年 新たな出発！

…9/20定期総会でNPO設立の方針を全会一致で決定…

去る20日、「時ノ寿の森クラブ」3回目定期総会が、会員25名の参加を得て盛会に開催されました。2006年9月3日に賛同者19人で設立して以来、「ふるさとの森」再生をめざしてクラブ員自らが楽しむことを旨としつつも、夏の炎天下には汗まみれになって下草を刈り、真冬の凍てつく中でも根気強く竹林除伐作業をしてくださったお陰で、今「時ノ寿の森」は輝きを取り戻してきました。これまでのご支援に、心から感謝申し上げるとともに、なお一層のご支援をよろしくお願いいたします。

森林再生は、地球温暖化や国土荒廃の中で、その重要性がクローズアップされていますが、実際に活動してみると、とてつもなく多くの課題があり、政治や行政の思い切った政策転換とともに国民（社会）の意識改革が不可欠であることを、あらためて強く感じています。

このような状況の中で「時ノ寿の森クラブ」は、森林再生活動の持続可能な体制づくりをめざし、定期総会において特定非営利活動法人設立（定期総会資料P10「趣旨書」参照。）を決めました。会員が楽しく、かつ夢を持って活動に参加してもらえるように、広く社会の協力を得ながら組織を運営してまいりたいと思います。



今後、特定非営利活動法人設立申請書が整い次第、静岡県知事に提出します。来春には、認可される予定ですが、認可されましたらクラブ員の皆様には、特定非営利活動法人「時ノ寿の森クラブ」設立を報告し、NPO法人への入会のご意志を確認させていただきます。NPO法人になりましても、引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

水害の住家に650kgの炭を贈る

・・・時ノ寿の炭が兵庫県佐用町の浸水家屋の除湿・消臭に一役・・・

わがクラブは、伝統の森林文化を社会に広げようと活動していますが、「炭の利活用拡大」もその一つです。今年は、4月中旬から炭焼きに力を入れており、いよいよこれから「時ノ寿の炭」を社会に発信していきたいと思っていました。

そのような折、台風8・9号の水害で多くの住家が床下・床上浸水の被害に遭われた兵庫県佐用町では、今も住民のみなさんがその復興に懸命の日々を送っていることを知りました。そして今、佐用町ボランティア団体は、その水害家屋の環境を少しでも快適にしてあげたいと、炭の寄贈を全国に呼びかけています。濁流や泥水が入ってしまった家は、簡単に異臭や湿気が消えることはなく、大災害に見舞われた住民のみなさんは、途方に暮れながら毎日を生活されているに違いありません。

「時ノ寿の森クラブ」定期総会の席上、緊急議題として「佐用町の水害家屋に炭を贈ろう」と提案したところ、参加者全員が了承してくれました。早速、総会終了後みんなで、ストックしてあった炭を梱包しましたら、8kg入りの袋が81袋出来上がりました。佐用町ボランティア団体は、全国のみなさんから木炭10tを集めたいようですが、現時点まだ1t程度しか集まっていないとのこと。約650kgの「時ノ寿の炭」が、水害に遭われた方々に少しでもうるおいを提供できれば幸いです。



今年5月、木炭を前にうれしそうですね。昔は、炭焼きの手足だったクラブ員の松浦鉄治さん。



総会終了後、みんなで梱包作業。真っ黒になりましたが、炭の浄化作用で心はスッキリ。

10～12月のクラブ活動予定 *見やすい所にお貼りください。

・・・「時ノ寿の森」でも芸術の秋！どうぞお越してください！・・・

月／日	曜	時間・場所	行 事 内 容
10/18 17日を 18日に 変更！	日	9:00～15:00 <場所> 時ノ寿の森	定例活動日（雨天中止） モニュメント（看板）設置工事、四人展の会場準備 持ち物：軍手、帽子、作業の服装、水筒、一日参加の方はお弁当
10/24 ～ 11/8	土 日	期間中毎日 10:00～16:00 入場無料 <場所> 森の駅	国民文化祭記念事業「陶のある風景」 クラブ員の伝統工芸家・徳川浩さん・小牧さん夫妻が、お二人の友人作家と協力し、「森の駅」を会場に陶芸展を開催します。 日本の原風景に建つ伝統木造構法「森の駅」に調和する陶芸作品を、ゆっくりと堪能いただけます。 この機会に、ぜひご家族やご友人もお誘いのうえ、「時ノ寿の森」にお越してください。
10/31 ・ 11/1	土 日	両日とも 10:00～16:00 入場無料 <場所> 森の駅	秋の森づくり県民大作戦参加事業 「伝統木造構法の家」見学会 時ノ寿の「森の駅」は、土壁や地元材を利用し、日本の伝統的な木造構法で造りました。環境に配慮した住まいを実際に見て体感ください。 *10/31(土)11:00 「時ノ寿の森記念看板除幕式」も開催！
11/15	日	9:00～15:00 <場所> 森の駅	定例活動日「木炭の商品梱包作業」 間伐等の森林再生活動を持続するため、森林からの恵みを社会に普及する事業の一環として、木炭を調湿・消臭材の商品にします。 持ち物：軍手、帽子、作業の服装、水筒、一日参加の方はお弁当
11/22	日	9:00～14:00 <場所> 掛川市生涯学習センター	臨時活動日「市農業祭で木炭販売」 掛川市の農業祭で、木炭等森林からの恵みを販売し、森林再生の重要性を市民に訴えます。 クラブ員のみなさんも、にぎやかに来てください。
12/20	日	9:00～15:00 <場所> 森の駅	定例活動日「炭焼き作業」 間伐スギ・ヒノキ材を木炭に焼き、調湿・消臭材としての活用を広めます。まずは、スギ・ヒノキ丸太を搬出し、木炭の原木づくりを行います。 持ち物：軍手、帽子、作業の服装、水筒、一日参加の方はお弁当
12/22 ～ 12/27	火 ～ 日	<場所> 銀座（東京）	間伐推進キャンペーン「エコ書展」 「時ノ寿の森」間伐材チップの入った紙、間伐材の板を使用した書展が東京銀座の「セントラル美術館」を会場に開催されます。 行事の詳細は、毎日新聞紙上で発表されます。ぜひ、東京へ見に行ってください。